

2022年12月国会閉会の直後、岸田政権は安保関連3文書の改訂を閣議決定しました。「専守防衛」を国是としてきた戦後日本の防衛政策を大転換する数々の施策が閣議決定で決められ、国会を軽視してきたアベ政権以来の政治姿勢が継続されています。

このような政治・社会情勢のもとで、市民の風は、選挙での野党統一候補の実現をはじめ、反軍拡ための不断の社会運動や他の団体との共同行動を積み重ねていくことが、野党共闘の再構築につながると考え、23年度の基本方針としてきました。このような観点から、以下、今年度の活動を振り返ります。

第一に、平和を求める活動についてです。22年2月のロシアによるウクライナ侵略以降、毎月第二土曜日に、札幌駅南口でのスタンディングを続け、12月16日には、クリスマス・ピースウォークを実施し、市民に平和を訴えてきました。

10月7日以降、パレスチナでは、イスラエルによるジェノサイドで日々多くの市民の命が奪われています。その惨状に対して市民の風は、12月2日以降、パルコ前にてスタンディングを始めました。そのなかでパレスチナ医療奉仕団北海道の集会・デモ（12月24日、3月23日、30日4月7日など）に共催や賛同という形で節目節目において共同行動を行ってきました。激動の世界にあって、特定の大国が世界の警察として君臨している状況はもう通用しません。他方では、世界はこの暴虐を阻止する術を見出していないのが現状です。1日も早い戦闘停止へ国際世論を高める一助を担えたらと、地道に活動を続けています。

全国の市民連合も各地で奮闘していますが、9月から始まった「フェミブリッジ」は女性が架け橋になって分断された社会・政治を変えようという運動です。札幌でも3回取り組み「ジェンダー平等今すぐに」「自民でも維新でもない選択肢」などを訴えました。

こうした取り組みのなかで特筆すべきことは、6月17日金平茂紀「ウクライナから考える平和国家日本の未来」、11月28日中野晃一「岸田大軍拡と日本のゆくえ」の2つの講演会です。前者において350人、後者において300人が参加しました。これは「軍拡より暮らしー全国講演会」の一環として総がかり行動実行委員会から市民の風によびかけがあり、平和運動フォーラム、憲法共同センターに働きかけ共催が実現、さらには他の市民団体・労組40以上の賛同を得て実行することができました。

第二に、立憲野党との関係についてです。8月20日、立憲民主党、日本共産党、社会民主党の幹事長・書記長と意見交換をおこないました。野党「共闘」なくして自公政治を終わらせることはできない、そして自民党を1議席でも減らす必要がある、という大枠において合意できましたが、その実現にむかっの現実的な一

3 歩を踏み出すまでには至りませんでした。

そこで、選挙共闘の出発的である各政党間の「政策」の一致を確認するために、10月25日には立憲野党3党を招き、政策シンポジウムを実施しました。そこでも「政策」では大きな違いはなかったものの、現実の野党「共闘」として選挙協定という各論のレベルになると、それぞれの党の考え、思惑が異なり、「共闘」への道すじは簡単ではないことを痛感させられました。

さらに、立憲民主党は幹事長が笹田浩氏に、共産党は委員長が千葉隆氏に各々交代したことを契機に、幹事長・委員長との懇談会をもち、政党間の距離を埋めるように試みました。

第三に会員の方々への対応についてです。会員主体の活動、会員の声が反映できる場づくり、代表・事務局だけでなく会員参加による政党や議員との懇談会、12の小選挙区との密な連携等を方針に掲げましたが、ほとんど取り組むことができませんでした。キメ細やかな活動への配慮や力量の不足を痛感しています。

平和運動について、前述のように平和運動フォーラムと憲法共同センターと共に改憲阻止の講演会を行い、多くの参加をえることができました。こうした社会運動の積み重ねのなかで、市民の風に対する社会的認知が広がり、野党共闘の現実的な地盤になることは間違いありません。したがって共同行動の積み重ねが重要であることを実感できたといえます。とはいえ、まだ、「死の商人」国家への道である武器輸出解禁や軍拡との闘いなどへの取り組みは不足していました。なによりも、野党共闘を実現する目的からすれば、社会的な輪の広がりはまだまだ不十分であり、今後の課題だといえます。また、野党共闘のための独自の活動を自覚的に追求していかなければなりません。

また、自民党の政治資金パーティーをめぐる裏金問題が大きな怒りをかい、岸田政権の支持率は20%前後という低いままで終始しています。金権腐敗政治と徹底的に闘い政権を変えることなしに日本に未来はありません。しかし、それに代わる立憲野党が存在感を示し切れずにいます。今のところ総選挙は未定ですが、市民の風の役割は重要です。市民連合と立憲各党が交わした政策提案（昨年12月7日付）に加え、市民の風として提示した「北海道の立憲野党への提案」（3月25日付）をもとに、共有可能な領域を広げ、野党「共闘」へ一歩でも進めたいと考えます。

25年8月で、日本は敗戦から80年を迎えます。「すでに新たな戦中である」とか「憲法9条は死んだ」という見解もありますが、私たちは「新たな戦前」を決して許さないために奮闘することを、会員をはじめ市民のみなさまと共有したいと思います。

## 2023年度「市民の風・ライブ隊」活動について

(24.4.28福尾)

1, 2023年度はライブ隊にとって、充実した、そして新たなチャレンジも行った年となりました。

札幌駅南口での反戦スタンディングへの参加。(5月から10月)

6/18豊平館での河野康弘氏とセッションした平和の夕べコンサート。

6/25岩見沢市民会館でのうたごえ祭典に挑戦。

そのほかに

8/23福島原発汚染水の放流反対緊急アクション

9/30フェミブリッジのスタンディング

12/16クリスマスウォーキング

また、イスラエルによるガザ市民への虐殺に抗議して、様々な集会に「パレスチナに自由を」の歌や鳴り物をもって有志として参加しました。

2, ライブ隊自身の取り組み

- ・エルプラザ音楽室や厚別区民センターでのライブ隊の歌の練習(10回)

活動費の節減とメンバーの利便性を考え、途中から厚別区民センターを多用。

- ・会場使用料を参加メンバーから徴収。

- ・6月の隊長の交代

- ・'24.2月 新年会の開催

これからも市民の風の運動が前進するよう、体力と相談しながらボランティア精神と自主性を発揮して、以下の精神で取り組んでいきます。(前回総会のライブ隊総括より)

- ・ライブ隊活動の目的は、市民運動の発展により社会を変える力をつける「きっかけづくり」であり、主役ではありません。
- ・音楽や文化活動の最大の利点は、運動に活力をつけ、参加している人たちと見ている人たちが楽しさを感じて、心を開放してくれることです。

## 平和プロジェクト報告

### 軍拡NO！ ウクライナに平和を！ パレスチナに平和を！



23年度は毎月第二土曜日札幌駅南口でのスタンディングを実施しました。ロシアによるウクライナ「侵攻」に対する抗議行動からはじまったプロジェクトは、平和プロジェクトに名称を変更し活動内容もウクライナに限定せず広く平和を求める活動にとりくむこととしました。また、市民の風に限定せず、他の平和団体との連携を広げることをめざしました。以下プロジェクトとしての主な活動です。その他、随時、ズームや対面でプロジェクト会議を行いました

- 1) 06月17日 ジャーナリスト金平茂紀さん講演会「ウクライナから考える平和国家日本の未来」 平和運動ファールム・憲法共同センターなどと共催
- 2) 07月08日 札幌駅南口 スタンディング
- 3) 06月30日 自衛隊への市民の名簿提供の中止を求める行動〈秋元市長あて〉
- 4) 08月12日 南口スタンディング
- 5) 09月09日 南口スタンディング
- 6) 09月30日 フェミブリッジ（女性による架け橋）—女性市民連合からの提案  
立憲、共産、社民、市民ネット、れいわ、それぞれの議員、関係者が参加（市民はメッセージ）女性の声で政治を変えようと訴えた、
- 7) 10月07日 ハマスとイスラエルのパレスチナでの虐殺はじまる
- 8) 10月14日 夏場の街頭での行動23年最終—24年春から再開
- 9) 11月03日 パレスチナ医療奉仕団主催「パレスチナに平和を」デモ—協力要請があり、市民の風としても以後、協力賛同を確認
- 10) 11月17日 フェミブリッジVOL2 すすきの交差点にて
- 11) 11月28日 中野晃一上智大学教授講演会「岸田大軍拡と日本のゆくえ」
- 12) 12月16日 クリスマスピースウォーク〈赤れんがテラスから大通り公園まで〉
- 13) 12月24日 パレスチナ医療奉仕団に賛同 ガザ支援集会&デモ
- 14) 01月14日 新春街宣
- 15) 01月27日 パレスチナ医療奉仕団に賛同 集会&デモ
- 16) 02月08日 岡野直元朝日新聞記者講演会「ウクライナ市民がいま、思うこと」
- 17) 02月17日 パレスチナ医療奉仕団に賛同 集会&デモ
- 18) 02月24日 ウクライナに、パレスチナに平和を！赤レンガテラススタンディング
- 19) 03月15日 フェミブリッジ すすきのスタンディング 曇の中50人参加
- 20) 03月25日 パルコ前・オスプレイ飛行再開&武器輸出抗議スタンディング
- 21) 03月30日 パレスチナ「土地の日」全世界一斉行動札幌南口スタンディング
- 22) 04月07日 パレスチナ医療奉仕団に賛同—ガザ虐殺から半年全国一斉集会・デモ

## 市民の風 主な活動履歴（2023年総会以降）

日付	主題	場所	特記事項	詳細
6月11日	第7回総会	エルプラザ		
6月17日	金平茂紀講演会	自治労会館	「ウクライナから考える平和と国家日本の未来」	平和フォーラム、憲法協働センター、市民の風、3者暁斎。内容も、ジャーナリストとしての貴重な講演であった。
6月18日	河野康弘コンサート	豊平館	ライブ隊とのセッションも	平和と環境活動家のジャズピアニスト：河野康弘さんのコンサートを主催し、ライブ隊とのセッションでも平和を大切さを参加者と共有した。
6月25日	「北海道のうたごえ」合唱発表会	岩見沢市民文化会館	ライブ隊が初参加	全体で34は団体が参加。8月に行われる「日本のうたごえ祭典in北海道」の予選でもあるが、9名で初参加したライブ隊は、準推薦となった。路上で活動している団体は少なく、ユニークでインパクトがありよかったという声をかけられた。参加者にも楽しんでもらえたのではないかとライブ隊の宣伝にもなる。
6月26日	「防衛問題セミナー」	共催ホール	北海道防衛局の主催 (第46回) 札幌市が後援	安保3文書と北海道の防衛力増強の説明がなされていた。参加者は約百数十名。ツッコミどころ満載の説明だったが、質問者は全員、防衛力増強に賛成の立場だと思われる。詳細はMLで報告。今後はできるだけ私たちも参加し、作戦を立てて発信していくべきではないだろうか。
6月30日	札幌市に対し自衛隊への個人情報提供中止要請、記者会見	札幌市役所	共同代表3人と事務局から中村、小林が参加 「軍拡NO！女たちの会・北海道」との共同会見	要請書と提出までの経過などをMLで報告。
7月7日	立憲民主党道連、共産党道委員会、との懇談会	それぞれの事務所		立憲民主党との話し合いでは、地域の要求運動を一緒にやっという話が立憲からあった。軍事産業支援法案に賛成した泉代表には困惑していた。共産党は、「党の躍進を第一に考えたい。共闘については厳しい状況だけれども共闘の道しかないと思っている。中央の方針があるので、地方組織独自には動きづらい」と。
7月8日	平和プロジェクトのスタンディング	札幌駅南口広場	ライブ隊も参加	市民の風として、ロシアは国連憲章違反、ロシア軍の即時撤退をメインとして行動することを確認。
7月15日	市民連合意見交換会	ZOOM	中村新事務局長が初参加	市民の風との組織関係を確認。「拡大運営委員会の決定が地方の活動をしばることはない。」市民連合の「拡大運営委員会」は、その地域の代表として話せる人に参加してもらうことが望ましい。「意見交換会」は、各地の取り組みがわかり参考になる。
7月23日	中央区大街宣	大通公園	福尾事務局員がスピーチ	ビール園開催中、音量を落として行った。トリチュウム汚染について話した。

8月15日	戦争犠牲者追悼街宣	大通公園	宮田共同代表がスピーチ	在日韓国人、アイヌ民族も参加しての追悼の集まりとなる。
8月17日	事務局会議	ZOOM	オリパラ住民投票運動	住民投票運動の趣旨に賛同して賛同団体として名を連ねること決める。 以降、何回も事務局会議で住民運動に関わっているメンバーから進捗の報告を受け、議論を重ねた。（以降、この記録では省略）
8月20日	3党との会議	エルプラザ		3党に、力を合わせてほしいと要請し、懇談した。
8月24日	各区との懇談会	ZOOM		3党との懇談会などを報告。
9月3日	中央区大街宣	大通公園	渡辺共同代表がスピーチ	「市民と野党の共闘」の重要さをアピール。 「れいわ」は前日に山本太郎氏が札幌にきて増税反対の集会・デモを行い、今後も増税反対を軸に活動していくと表明していた
9月9日	平和プロジェクトのスタンディング	札幌駅南口広場	ライブ隊参加	参加者が少し少なかった。救急車がすぐ近くにくるアクシデントがあったため後半はサイレントスタンディングで終える。
9月30日	フェミブリッジ札幌南口集会	札幌駅南口広場	70名参加	皆黄色い服を身に着けているので目立ったのではないかと、ビジュアルも大事だ。若い男性の関心も高かった。BGMにJAZZも流れ、ライブ隊も有志で参加した。共産党から紙議員、立憲の女性議員から文書メッセージ、市民ネットから市議会女性議員、れいわからは応援団の女性、その他市民団体から女性のアピールがあった。
10月5日	市民連合拡大運営委員会	ZOOM	山口共同代表、中村事務局長が参加	政策合意案に対して、北海道からは独自の課題として食料、農業問題を取り上げるべきと提起した。
10月8日	中央区大街宣	大通公園	小林事務局次長がスピーチ	発言内容は、MLで報告した。
10月10日	オリパラ住民投票	ZOOM	この回だけでなく、何回も進捗状況の報告を受けた。	オリパラ招致に対する住民投票要求運動の進捗を、参加している事務局メンバーから報告した。
10月14日	南区憲法フェスティバル	南区民センター	小林事務局次長が参加して挨拶	佐藤博文弁護士の講演。110～120名の参加があった。
10月14日	平和プロジェクトのスタンディング	札幌駅南口広場		今年最後の南口スタンディングとなり、「友よ」を合唱して終えた。 通りがかりの若者2名がマイクをにぎってくれた。 ライブ隊の演奏があって立ち止まってくれる人もいる、音楽には人を引き付ける力がある。
10月25日	立憲3野党シンポジウム	エルプラザ	「政策の論点整理」を提示し、3党からスピーチ	立憲3党が揃ったのは一歩前進だが、野党共闘としては目に見える前進はなかった。立憲民主党は、個人としての見解が多く、党として責任のある見解が表明されない場面が多かった。政策の一致点が詰められなかった。消費税の議論はかみ合わなかった。働き方、非正規ワーク政策、共産党の政策提言が印象に残った。

10月27日	市民連合拡大運営委員会	ZOOM	政策合意案の討議 中村事務局長	北海道が提起した一次産業問題が第二次案でも取り入れられなかったので再度提案
10月29日	市民連合意見交換会	ZOOM	山口共同代表	フェミブリッジ、北海道での取り組みを報告
10月29日	中央区大街宣	大通公園	渡辺共同代表	市民組織として、「政治課題は生活そのものの課題」「私達が政治を変える主体」とスピーチ
11月3日	パレスチナに平和を！デモ	札幌駅南口～	パレスチナ医療奉仕団と連携した行動	
11月11日	護憲ネット講演会	エルプラザ	宮田共同代表	「非同盟主義・バンドン会議等の流れを受け継ぐ新たな地域共同体づくりが求められている」と訴えた
11月11日	自衛隊への名簿提供抗議集会へのプレゼン	福岡とのZOOM	各地7団体からの報告	札幌での取り組みと、今後各団体と連携・情報交換しながら進めていくことを報告
11月12日	「ガザ侵攻・虐殺やめろ」デモ	札幌駅南口～米領事館	パレスチナ連帯・札幌の主催	沿道の反応はとてよく、特に若い人の関心が高いようだ 党派の主張を前面に出す人もいたが、多くは趣旨に賛同して集まった
11月17日	フェミブリッジ集会	すすきの	女性市民連合の提起による、北海道では2回目の集会	雨が強く中止としたが、集まった17名でサイレントスタンディング ススキノは札幌駅に比べて通行する人との距離が近いボードを見てもらえる
11月23日	「パレスチナ連帯・札幌」の集会	エルプラザ		アイヌ民族、戦後責任を清算するため行動する会、などからのアピールを受け、市民の風からは渡辺共同代表が個人として参加し発言した セクト的な感じはなく、よかった
11月26日	中央区大街宣	大通公園	市民の風からは福尾事務局長がアピール	立憲民主党、共産党、れいわ、社民党、新社会党が参加
11月28日	中野晃一講演会	自治労会館	平和フォーラム、憲法共同センターとの3回目の共同開催	300名近い参加者。賛同団体を集めたことが人を動かすことにつながった。望月、金平、今回の中野講演会で3回目。
11月30日	市民連合拡大運営委員会	ZOOM	政策合意案の討議 中村事務局長	北海道から農業問題を提起した結果、市民連合の共通政策に「市民の生活をまもり、将来世代に繋げる政治への転換を」が盛りこまれた そして不十分な点については、各県の市民連合それぞれの場所で可能な限り補強をめざすことになった 中央レベルで全てを決めるのではなく、方針を生かしてそれぞれの地域で、地域の実情に合わせて合意形成をはかってほしいということ。
12月2日	ガザ再攻撃への抗議スタンディング	パルコ前	緊急スタンディング (1回目)	急な呼びかけにもかかわらず15名の参加で行動することができた。 アラブ系と思われる4人が通り、「わたしたちもパレスチナを支援している」とマイクを持つ飛び入りがあった。人通りもおおく、タイムリー。

12月7日、12日	ガザ虐殺緊急抗議スタンディング	パルコ前	緊急スタンディング(継続)	7日8人、12日10人参加 平日の日中という事もあり人どおりは少なめだった。外国人や若者など結構注目してくれた。
12月9日	パレスチナ医療奉仕団との共催ガザ支援デモ	札幌駅南口～		エジプト人やパレスチナの涙を描く活動をしている若い人の発言などが、あり共感を呼んでいた。300人参加
12月9日	オスプレイ丘珠にもう来るな!集会	すすきの交差点	「おんなたちの会」主催	タイムリーでおじさん達や若い人たちの関心が高かった。 新しい「ここのススキノ」のテラスから見ている人が多かった。
12月9日	れいわ新撰組との懇談会	エルプラザ	北海道の実質的代表者と	中央本部は野党共闘に対して距離を置いているが、北海道では市民運動と交流をしたいという意思を表明。 政策チラシでは我々のめざすものとほとんど重なっている。 市民連合との合意は「政策文書を受け取った」という認識にとどまるようだ。
12月10日	立憲民主党道連との懇談会	レストラン	新任の幹事長と懇談	率直な意見交換をした。 さほど突っ込んだ話し合いはできなかったが、親睦と交流をはかった。
12月16日	クリスマス ピースウォーク	赤レンガテラス～大通ミュンヘン市	コスプレウオークなど	45人の参加
12月24日	パレスチナ医療奉仕団などとの共催ガザ支援デモ	札幌駅南口～		350人程の参加者 奉仕団・他の団体とのコミュニケーションがうまくいかない面があった。
12月28日	ガザ連帯・裏金問題糾弾スタンディング	パルコ前	ガザ問題に加えて裏金問題を	ガザに関しては、日増しに道行く人の関心は高まっているし、外国人からも反応あり
1月4日	共産党道道委員会の新春旗開き	サンプラザ		渡辺共同代表が最初に挨拶。「軍拡NO・女たちの会」からも。 オリパラから神保共同代表、社民党、新社会党が挨拶し1時間ほどで終わる
1月12日	女性市民連合の会議	ZOOM	一ノ宮事務局員が参加	全国から30名参加。さよならマッチョ政治」がテーマ。 前回のフェミブリッジの報告と、3月の国際女性デーに合わせて3月をフェミブリッジ月間として各地で取り組むことを決めた。
1月13日	パレスチナ医療奉仕団の集会			パレスチナの涙を描いてくれる若い人が多かった。 30名ほどが参加。
1月14日	新春街宣	札幌駅南口		年の初めのスタンディング行動に25人の参加者
1月18日	市民連合拡大運営委員会	ZOOM		昨年、市民連合と立憲野党との政策合意がなされた。 市民連合の選挙の基本方針は3つ。1つは立憲野党の議員の議席増、2つ目は比例区は統一候補とはならないが、それぞれの議席増、3つは小選挙区ではできるだけ統一候補をめざすこと。 上記3点と立憲野党との多様なつながりをつくることを、総選挙に向けた市民の風の基本的スタンスとして確認。



1月26日	裏金問題糾弾スタンディング	パルコ前		あいにくの雨で、作った「金権・腐敗の自民党糾弾」の横断幕が破けてしまった。今後防水機能を持つ横断幕を長い期間使うためお金をかけて作成することも検討。 若者にもアピールできるような活動スタイルを考えていきたい
1月27日	パレスチナ集会とデモ	札幌駅南口～大通公園		参加者は80名ほど。 パレスチナ医療奉仕団と市民の風の意味疎通を図っていく必要あり。
1月27日	豊平区共産党新春の集いへの出席と挨拶		山口共同代表	130名の参加者。田村委員長になったことを期待するとアピールしてきた。
1月28日	南区共産党新春の集いへの出席と挨拶		小林事務局次長	出し物で「ひょっとこ踊り」もありとてもおもしろかった。
1月29日	新たな戦争にさせない街頭集会	林業会館前	戦争をさせない北海道委員会主催、立憲民主、共産党、社民党から挨拶	日本がUNRWAへの支援を停止したことについて「パレスチナの人々が飢餓寸前までおいこまれてしまう」という清末さんの発言が印象的だった。 50～100名の参加者
2月8日	「ウクライナの市民がいま、思うこと」講演	エルプラザ	元朝日新聞記者で、ウクライナの戦時下を取材した岡野直さんを囲んでのミニ集会	ウクライナの厳しい状況はわかったが、私たちは何をしていけばいいのか？ ウクライナの状況は複雑。一般的な停戦ではなく、ロシア軍の撤退を前提とした停戦をはっきり打ち出していくべき。
2月13日	市民連合拡大運営委員会	ZOOM		中野晃一さん：「野党は本気で戦う気があるのか。野党共闘は日本の将来に関わってくる」と。 4月28日（日）長崎、島根、東京地方で統一補欠選挙。野党統一で闘えるか試金石となるか。 これだけ酷い自民党政治になっているのに、野党が共闘できないことが大問題だという発言もあった。 市民連合がどれだけ多くの人々と繋がっていけるかが肝心。
2月17日	ガザ・パレスチナの命を救え！集会とデモ	札幌駅南口～	パレスチナ医療奉仕団主催	情勢が緊迫しているので参加者の意識は高いが、参加人数が減ってきている。 ・メディアの取り上げ方もあるか。ニュースでの取り上げ方が低い。 ・関心が薄いというより、無力感が支配してきたか。 ・実際はウクライナ1万人、ガザ3万人もの死者を出しているのに西側報道も問題だ。 ・日本はUNRWAへの資金拠出停止。日本政府の外交は命を大事にする外交ではなくて、欧米の顔色を窺っている外交になっている。明確に「おかしいぞ」と言っていかなければならない。
2月20日	ラファ侵攻反対スタンディング	パルコ前		この問題や最近の政治問題に対しては、聴衆の反応の強さを感じる。特に若者などが、声援してくれたりマイクで喋ってくれたりもする。
2月23日	国境なき医師団の報告集会			125名参加。女医さんの報告は生々しかった。若い医療従事者関係の方が多かった。

2月24日	「ウクライナ・パレスチナ」集会	赤レンガテラス前	平和フォーラム主催	参加人数150人くらい。うち、市民の風は20人 TV局も入っていた。話の内容もしっかりしていた。 司会、設備、役割、シナリオなど準備不足であった。
2月24日	「ウクライナ・パレスチナ」集会	赤レンガテラス前	市民の風独自の主催	上記デモの終了後、市民の風独自の主催としてスタンディングを行った。
2月27,29, 3月 2,4,6,8, 10日	ガザ・ラファへのイスラエル軍侵攻阻止のための、ラマダンまでの緊急連続スタンディング	パルコ前	基本、隔日に開催	最終日の報告から： 今日も通行人からの反応は良く、アジア系の若い女性から「一緒に写真を撮りたい」とのリクエストで、スタンディングの列に入ってもらい、一緒にパチリ！ 親指を立ててニッコリしなら通り過ぎる人など、暖かい反応でした。 今回の「ラマダンまでの隔日スタンディング」は今日が最後となりますが、現地の状況はさらに深刻になっています。50万人以上が餓死寸前という惨状を前にして沈黙はありえません！
2月28日	杉田水脈議員のアイヌヘイト発言を考える集会	エルプラザ	多原良子さんの講演会	講演と、河瀬事務局員からの関連情報（日本会議など）報告
3月12日	共産党道委員会の新委員長・書記長との懇談会	エルプラザ	双方の主な発言のメモを会員MLで通知	共闘以外に政治打開への道はないことを確認。政治は変えられるし、どう変えるかを市民や若者に伝え、それを「見える化」していくことが必要。
3月16日	「自衛官の人権と実態を考える」集会	札幌弁護士会館	小林事務局次長と福尾事務局員が参加し、MLで報告	パワハラ・セクハラ行為が自衛官の人権がないがしろにされている。 国家公務員の半数が自衛隊員であることはあまり知られていないことに驚愕した。
3月15日	Women's Action@札幌	すすきの交差点	全国的なフェミブリッジの札幌版	女性が架け橋となって行動する全国行動の一環で、天候が悪いにもかかわらず50名の参加。最後のコールを連合札幌の女性委員長がおこなったことは大きな成果。
3月17日	会員集会	かでの2・7とZOOMの併用	36名参加。うち事務局員13名	昨年10月25日の「政策シンポジウム」以降の活動を報告し、平和問題、裏金問題、今後のことなどを活発に話し合い、必要な修正を行なった。5月の総会にも生かす。

3月 13,16,20, 27日 4月 3,10,13, 17,20,24, 27日, 5月1,4日	パルコ前スタンディング第 2ラウンド	パルコ前	基本、毎水曜日と土曜日の 午後に開催	ラファ市内への爆撃はラマダンに入った現在も間断無く続いており、ネタニヤフらは地上侵攻の タイミングを図っているというのが現状です。 今日も通行人から、賛同を示すサインが多く示されました。日本人のサラリーマン風の男性から も「同意します。頑張ってください！」との声かけが。 米欧、中東諸国では万単位の大デモンストレーションが行われており、東京でも数百、数千の参 加者が集会、デモを繰り広げています。 私たちの数は少なくても、継続して訴え続けていく事は、重要な連帯活動だと思えます。 少しずつですが、国際世論に押されて、米イスラエルの暴虐、民族浄化はスローダウンを迫られ ています。「メゲず、焦らず、諦めず」で声を上げ続けましょう！ 4月10日、あの10・7から半年もが過ぎてしまいました。すでに1万3千人以上の子供たちが 犠牲になっています。多くの子供たちが毎日毎晩、四六時中爆撃に晒され、いつ死ぬか分からな い日々を強制されているのです。 他の親族は空爆で全滅し、孤児となった子供たち。 爆撃による負傷で、麻酔も無く四肢切断に合う子供たち。 飢餓を強制され、痩せ細っていくばかりの子供たち。 想像を絶する残酷な現実を小さな身体で受け止めなければならない子供たち。 これが日常になってしまっている現実、早急に改善されなければなりません。
3月23日	「ガザ・パレスチナの命を 救え」	札幌駅南口集 会～デモ	医療奉仕団主催の集会・デ モに合流	解散場所の市役所に向けてデモが行われた
3月25日	オスプレイ飛行中止・戦闘 機輸出撤回緊急スタンディ ング	パルコ前	12名が参加 「女たちの会」との共催	特に、若い人が感心を持っているような様子が見られた
3月30日	パレスチナ連帯「土地の 日」スタンディング	札幌駅南口広場	市民の風主催、医療奉仕団 の共催	50名参加。1時間ずっと立ち続けてスピーチもしてくれた若い人たち、気がつくとも学生グルー プが5組10名、赤ちゃん連れのお母さんもいて、ジュースやグミの差し入れもありました。 心痛めている人たちが集ってくれたことに励まされました。 夕方のHTBニュースでも放送されました。
4月7日	ガザ虐殺開始から半年の全 国一斉集会・デモ	札幌南口～大 通～市役所	北海道パレスチナ医療奉仕 団主催・市民の風も合流	青年による「「赤い涙」アクション」、猫塚氏や医療奉仕団メンバー・赤い涙アクションの若者 たちによるリレースピーチ、100人以上の行進。
4月13日	立憲野党で展望を語りあう 会	中央区民センタ ー	中央区の会主催	60名の参加者があり、各党（立憲、共産、社民、れいわ）から現在の状況をどのように考えて いるのか報告を受ける。率直な論議を交わすことができた
4月15日	立憲民主党道連との懇談会	道連本部事務所	笹田幹事長と、山口・中 村・小林・竹ノ内が懇談	笹田幹事長から「市民の風の提案には全面的に共感するので、逢坂代表にも提案書を渡します」 との返答。また「北海道から政権交代をめざしたい、またとないチャンスであるということと、 共産党にどう納得してもらおうかが必要だ」と。

4月17日	自衛隊への名簿提供、札幌市への要請と記者会見	札幌市役所	中村事務局長と小林事務局次長が行動	札幌市長へ、中止要請書を提出 記者会見には、NHK、朝日、道新、赤旗が参加
4月18日	市民連合拡大運営委員会	ZOOM	中村事務局長が参加	立憲野党へ「提案書」を出したこと、それに基づいて立憲民主党と懇談会をもったことを報告。市民連合からは「全国で、野党共闘めざしての体制づくりが進められており、情報交換等さらに強化する」と。
4月29日	共産党道委員会との懇談会	共産党道委員会事務所	山口共同代表、中村事務局長、小林事務局次長、竹ノ内事務局員が参加	千葉委員長「自民党政治を変えるには、一本化・共闘」が必要と。さらに「市民の風の政策提案には一致点として確認できる」「旗印を明確にして、政策協定を」「北海道は困難を乗り越えられる」「民主党政権時代とは、市民の状態が違うので、期待している」などと。
5月3日	反戦平和集会	大通広場	平和運動フォーラム主催、医療9条の会主催の集会に連携した、市民の風独自の集会	北海道平和運動フォーラム主催の「STOP改憲！5・3憲法集会、医療9条の会・北海道主催の「憲法を守ろう！リレートーク」集会に参加し、それらの合間に行なった独自の行動

キャプション

回数	開催日付	主な議題
1	2023.6.30	事務局内の役割分担、立憲野党への挨拶、基本理念作成の必要性
2	7.6	新事務局員紹介、役割分担、HPにおける入会申込書改善」
3	7.13	平和プロジェクト、自衛隊への名簿提供問題、総会で出た課題、市民連合との関係、内部グループへの財政援助基準
4	7.18	自衛隊への名簿、保有資材管理、ウクライナ戦争の学習会、LINEの活用、会員加入の呼びかけ文書改訂、札幌五輪の住民投票運動
5	8.4	会員名簿メンテナンス、会員MLのルール、連帯挨拶の対応基準、札幌五輪
6	8.17	札幌南口スタンディング、金平講演の報告、立憲3党との懇談会、五輪問題報告・住民投票運動の趣旨に賛同して賛同団体として名を連ねること決める。
7	8.29	オリパラ問題報告、自衛隊名簿問題・札幌市への再要請書、3党との会議
8	9.1	立憲民主党への要請文書検討、政策シンポジウム計画、札幌市への再要請書、フェミブリッジの進捗と今後、南口スタンディングの今後
9	9.25	チカホフェス報告、立憲民主党中央への要請文書、シンポジウム企画案、軍拡NOの全国8ブロックの取り組み、南口スタンディング最終
10	10.1	シンポジウムの具体化、市民連合の野党共通政策項目案の検討、中野晃一講演会への準備
11	10.16	オリパラ進捗、シンポジウム具体化、野党共通政策の基本項目（北海道版）の検討、中野後援会の具体化
12	10.23	政策シンポジウムの最終打合せ
13	11.2	政策シンポジウム反省、市民連合拡大運営委員会報告、オリパラ運動終了報告
14	11.13	立民との懇談会、れいわとの懇談会、連合北海道への挨拶、ガザのジェノサイドを許さず即時停戦を求める、連続的な行動
15	11.21	社会運動部と平和PJとの合同会議
16	12.4	市民の風HPの運用について、ウクライナ戦争・パレスチナ問題の学習会
17	12.17	北海道の基本政策合意案検討、中野晃一講演会の賛同団体による会議の具体化
18	12.27	北海道の基本政策合意案の作成、立憲民主党以外との懇談会の計画、杉田水脈議員によるアイヌヘイトへの抗議集会計画
19	2024.1.13	エルプラザのロッカーなど、今年度予約
20	1.29	会員集会の計画、チカホフェスの位置付け、北海道の政策課題要望書（案）の検討
21	2.12	北海道の政策課題要望書（案）の提示と議論、今後の進め方、杉田水脈議員によるヘイトの抗議集会における任務分担
22	2.26	市民連合拡大運営委員会、会員集会の準備、総会の日程
23	3.7	日本共産党北海道委員会の新委員長・書記長との懇談会、自衛隊への名簿提供・札幌市への要請書、会員集会最終確認
24	3.17	北海道の政策要望書（案）の論議・修正点を確認、ガザ・パレスチナの連帯スタンディングの今後、交通費の支給基準
25	3.26	市民連合拡大運営委員会、立憲野党への提案書提出、自衛隊名簿、ガザ・パレスチナ連帯スタンディングの今後、総会に向けたスケジュール
26	4.5	自衛隊への名簿中止要請書、総会での総括文検討、事務局MLルール決定
28	4.1	立憲民主党道連幹事長との懇談会、自衛隊への名簿提供問題、活動総括案、活動履歴
	4.17	自衛隊問題について、「軍拡NO!女たちの会」「護憲ネットワーク」との協調を決定。
29	4.24	次期役員体制、総会での方針案作成、5/26「軍拡NO!女たちの会」和田静香さん講演会
30	4.29	方針案の討議、総会の準備
31	5.2	総会の準備

14
会議形態
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
ZOOM
対面
ZOOM
ZOOM
ZOOM
対面
ZOOM
ZOOM
対面
対面
対面
対面
対面

# 戦争させない市民の風・北海道 収支報告

14

自 2023年5月 23日

至 2024年4月30日

## 【収入の部】

2024年4月30日現在

	2024年決算	備考
前期繰越金	919,306	
会費	226,000	99件
カンパ金	69,500	個人12件
受取利息	1	郵便局通帳利息
雑収入	9,451	6/18平和コンサート、金平講演会余剰金
合計	1,224,258	

## 【支出の部】

	2024年決算	備考
事務所費	37,200	エルプラザ（ロッカー3個）福島の子どもたちを守る会（1箇所）
通信費	84,845	HPサーバー・ZOOM使用料・発送料
旅費交通費	95,280	公共交通機関・駐車場代・ガソリン代
事務用品	16,591	コピー用紙、封筒代他
ライブ隊活動費	37,200	ライブ隊メンバーへガソリン、駐車場代
備品	16,795	モバイル拡声器、電池チェッカー、延長コード他
会場費	37,530	会費室・プロジェクター使用料
印刷費	46,403	コピー代・チラシ印刷
事業費	46,803	フェミブリッジ、クリスマスウォーク経費他
手数料	100	振込手数料
予備費	0	
次期繰越金	805,511	
合計	1,224,258	

## 【貸借対照表】

借方		貸方
36,233	現金	
347,038	普通預金	
422,240	郵便振替口座	
0	未収金	
0	仮払金	
	次期繰越金	805,511
805,511	合計	805,511

上記の通り報告致します。2024年4月30日会計監査を受けました。 会計 佐々木かおり  
決算に誤りが無いことを確認しました。

会計監査 新谷 義人



■特別会計■ 円卓会議会計

15

自 2023年 5月23日

至 2024年 4月30日

【収入の部】

■2024年 4月30日現在

	金額	備考
前年度繰越金	3,030	
カンパ金	0	
合計	3,030	

【支出の部】

	金額	備考
会場費	0	
事務用品	0	
次年度繰越金	3,030	
合計	3,030	

【貸借対照表】

■2024年 4月30日現在

借方	貸方
現金 3,030	
	次年度繰越金
	3,030
3,030	3,030

上記の通り報告を致します。2024年4月30日会計監査を受けました。会計 佐々木かおり

決算に誤りが無いことを確認致しました。

会計監査 新谷義人

